

平成 28 年 2 月 北秋田市長記者会見

平成 28 年 2 月 24 日（水）16 時 30 分
市役所本庁舎 大会議室

1. 平成 28 年北秋田市議会 3 月定例会について・・・資料 1
2. 北秋田市民ふれあいプラザの愛称について
3. その他
3 月の行事予定

1. 平成28年北秋田市議会3月定例会について

本日、平成28年北秋田市議会3月定例会を3月8日に招集することといたしました。

今定例会には、「北秋田市職員の退職管理に関する条例の制定について」をはじめとする条例案が18件、新年度予算案が27件、補正予算案が14件、単行議案が3件の計62件の提案を行うことといたしております。

概要につきましては、午前中に行われました議会運営委員会において総務部長から説明をさせておりますが、特に新年度予算について説明させていただきますと、昨年度からの継続事業でありますクリーンリサイクルセンター建設事業、歩行空間整備事業、まるごと森吉山観光振興プロジェクト事業などに加えて、総合戦略の4つの基本目標であります「仕事づくり」、「移住・定住」、「少子化対策」、「新たな地域社会の形成」を着実に進めるため、新たに移住定住促進事業、中小企業振興資金利子補給金、宿泊施設パワーアップ事業、鷹巣小学校放課後児童クラブ建設事業などを計上し、予算総額を前年度比22億6,936万5千円増の244億9,265万4千円としたところであります。

一般会計の歳出の主なものをご説明いたしますと、

- 【新規事業】公共施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に推進するための総合管理計画の策定として、

1,947万3千円

- 【新規事業】移住定住サポート事業、移住促進PRなど首都圏からの移住定住を促進するための各種事業費として、

1,065万4千円

- 介護サービス特別会計繰出金のうち、起債残高の繰上償還費として、

9億1,065万5千円

これは、元利償還金に対する交付税措置のない「ケアタウンたかのす」の残債全額について行うものですが、ここ数年、大型事業が続き、起債残高が増嵩傾向にあることから、市財政の将来負担をコントロールするための措置であります。

- 不妊治療等の実施者に対して、自己負担分の助成を行う事業費として、

375万円

- クリーンリサイクルセンター建設事業費として、

29億9,366万6千円

○【新規事業】これまでの中小企業振興資金保証制度による保証料補填に加え、金利負担の軽減を図るための中小企業振興資金利子補給金として、

1,000 万円

○【新規事業】市内宿泊業者が行う宿泊規模拡大及び水回り設備改修による施設のパワーアップへの補助事業費として、

1,000 万円

○まるごと森吉山観光振興プロジェクト事業における森吉山の魅力創造・イメージアップ等の事業費として、

745 万 1 千円

○歩行空間整備事業における鷹ノ巣駅前アーケード及び歩道整備の事業費として、

1 億 4,955 万 9 千円

○【新規事業】市営住宅南鷹巣団地の建替え工事等の事業費として、

3 億 3,707 万 9 千円

○高規格救急自動車の購入費として、

3,225 万 9 千円

○伊勢堂岱遺跡見学環境整備事業における環状列石保存処理及び橋梁等の整備事業費として、

6,210 万 6 千円

○【新規事業】鷹巣小学校放課後児童クラブ建設事業費として、

1 億 4,866 万 6 千円

などを計上するものであります。

また、平成 27 年度一般会計補正予算は、3 億 9,513 万 7 千円を追加して、総額を 233 億 2,025 万 5 千円といたしました。

主なものといたしましては、国の補正予算により行われる事業でありまして、

○マイナンバー導入による情報流出防止の情報セキュリティ構築事業として

2,015 万円

○年金生活者等支援臨時福祉給付費負担金として

1 億 5,900 万円

○農業の担い手確保・経営強化支援事業として

8,465 万 9 千円

などを計上しております。

2. 北秋田市民ふれあいプラザの愛称について

今年4月にオープンを予定しております「北秋田市民ふれあいプラザ」の愛称を募集しておりましたが、この度、ご応募いただきました657点の中から、その愛称を決定いたしましたので、皆様にご紹介させていただきます。

愛称は、「北秋田市民ふれあいプラザ コムコム」であります。

この愛称は、大阪府高槻市の池永一広（いけなが かずひろ）さんよりご応募いただいたものでありまして、「コミュニティ&コミュニケーション」に由来し、多くの世代の人々が集い、憩い、学ぶ場が末永く愛されるようにとの思いから、親しみやすいように命名されたものであります。

その選定理由といたしましては、「コムコム」という愛称が、市民ふれあいプラザの持つカジュアルな雰囲気と人や物、情報が行き交う交流の拠点としてのイメージにマッチする点などが評価されたことによるものであります。

また、たくさんの方で「施設が混む」「街が混む」ようになって欲しいとの思いも込められております。